

1 基本情報

施設名称	大阪城天守閣(豊臣石垣館含む)
施設所管課・担当	経済戦略局観光部観光課
条例上の設置目的	歴史及び文化に関する資料の収集、保管及び展示並びにその調査研究及び普及活動を行うとともに、市民の生涯にわたる学習活動を支援することにより、市民の文化と教養の向上、学術の発展及び観光の振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	大阪城天守閣の管理運営 天守閣資料の収集・保管及び展示並びに、教育・普及、学校や市民・各種団体との連携、情報発信や広報・宣伝などのほか、建物及び付属設備の維持保全、集客事業の実施など
成果指標	入場者数/利用者満足度
数値目標	270万人/5段階評価の内上位2評価の割合が85%
指定管理者名	大阪城パークマネジメント共同事業体 【構成員】 大阪城パークマネジメント（株） （株）電通 読売テレビ放送（株） 大和ハウス工業（株） 大和リース（株） （株）NTTファシリティーズ
指定期間	平成27年4月1日～令和17年3月31日（20年間）
評価対象期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標	270万人	85%
年度実績	281.3万人	86.4%
達成率	104.2%	101.6%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	2,813,851	2,659,736	154,115
稼働率	—	—	—

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	—	—	—	—
	計画	—	—		
利用料金収入	実績	2,486,126,606	1,238,546,723	233,748,606	入館者数の増
	計画	2,252,378,000	1,020,197,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	350,241,605	299,484,067	40,794,605	大阪城天守閣における各種売上の増
	計画	309,447,000	240,526,000		
営業外収益	実績	936,430	181,948,351	936,430	雑収入及び補助金助成金の増
	計画	0	5,700,000		
合計	実績	2,837,304,641	1,719,979,141	275,479,641	
	計画	2,561,825,000	1,266,423,000		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	131,022,185	96,987,266	1,629,185	退職金制度にかかる積立金等の増
	計画	129,393,000	95,540,000		
物件費	実績	753,833,672	556,648,346	-17,460,328	修繕費及び改修費の減
	計画	771,294,000	678,652,000		
その他事業費 （自主事業支出）	実績	—	—	—	上記人件費、物件費に含む
	計画	—	—		
営業外費用	実績	547,688	176,448,319	367,688	雑損失等の増
	計画	180,000	180,000		
合計	実績	885,403,545	830,083,931	-15,463,455	
	計画	900,867,000	774,372,000		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

（1）成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
入館者数270万人	104%	B	入館時間の延長などの取組みにより、訪日外国人旅行者を中心に大阪城天守閣の入館者数が増加し、当初の目標を達成することができた。
利用者満足度5段階評価の内上位2評価の割合が85%	101.6%	B	昨年度に引き続き、各種事業を展開する等、アピール・集客促進努力により、利用者満足度の目標を達成することができた。

（2）管理経費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
入館者数の増加及び利用者ニーズに沿った事業運営と効率的な経営により、収支計画以上の変動納付金が納付された。	A	変動納付金は、計画338,860千円に対して26%増の427,850千円となった。

（3）管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	施設の管理運営状況について、本市が求める水準に従って維持管理できていた。
事業計画の実施状況	B	概ね本市が求める水準どおりであり、事業計画に沿って各種展示事業や季節ごとの集客イベントを実施するとともに、混雑緩和・待ち列・暑さへの対策にも取り組んだ。令和7年度は、豊臣石垣館の開館・開館時間の延長・万博開催期間中の賓客訪問など例年にはない対応が必要となった。豊臣石垣館については、円滑な管理運営に加え、案内看板の設置やイベントでのチラシ配布など、施設の認知度向上に取り組んだ。また、4月から天守閣の開館時間を1時間延長することで、入館者数の増加にも貢献した。加えて、万博開催期間中は、各国要人が頻繁に天守閣を訪れることになり、学芸員とともに視察対応を行ったことも評価できる。 一方、石垣館の入館者数が天守閣の入館者数の7%に留まっていることから、より一層PR活動に取り組み、入館者の更なる増加を期待する。また、本市施策と連携を図るとともに、ナイトコンテンツの造成を始めた大阪城の魅力やサービスの向上にも引き続き努めてほしい。
施設の有効利用	B	大阪周遊バスや博物館機構キャンパスメンバーズへの参画など、他施設や他の事業等との連携による入館促進策を展開するなど、施設の有効利用についての取組みが実施できている。 また、LED化された天守閣のライトアップにより、本市施策の啓発に努めた。
社会的責任・市の施策との整合性	B	職員の人権研修を実施するとともに、各種文書の適切な管理が認められることから、一定の評価ができる。

5 利用者ニーズ・満足度等

大阪城来館者動向調査（令和7年10月24日（金）～26日（日）実施） 非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足の5段階評価 大阪城天守閣の満足度 86.4%（非常に満足42.2%、まあまあ満足44.2%）
大阪城豊臣石垣館来館者動向調査（令和8年1月16日（金）～18日（日）実施） 非常に満足、まあまあ満足、普通、あまり満足でない、不満足の5段階評価 大阪城豊臣石垣館の満足度 97.9%（非常に満足71.3%、まあまあ満足26.6%）

6 外部専門家意見

一次評価の内容は妥当である。 万博が終了した現在、新たな観光客層の獲得に向け、更なる魅力向上施策の展開が求められる局面にある。指定管理期間も折り返しを過ぎたが、収入が支出を大きく上回っている現状を踏まえ、新たな魅力向上に向けた投資を期待する。整備基本計画をはじめとする市の施策と連携するとともに、ナイトコンテンツ等の新たな魅力創出や、予約制導入等によるデジタル化の推進に取り組むことで、市民にも親しまれる国際的な観光地としての大阪城の実現をめざしてほしい。 また、豊臣石垣館のオープン初年度の入館者数が天守閣の7%に留まっていることを踏まえ、案内の充実や広報の強化によって、認知度の向上を図り、入館者数の増加に一層取り組んでほしい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	入館者数・利用者満足度は概ね目標通りの結果が得られた。
市費の縮減	A	変動納付金が計画以上に納付された。
管理運営の履行状況	B	本市の求める水準に沿って適切に維持管理を行い、事業計画に基づいた事業展開ができています。ただし、豊臣石垣館の入館者数が伸び悩んだことから、入館者数の更なる増加を期待する。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	概ね本市の求める水準に沿って適切に維持管理を行い、事業計画に基づいた事業展開ができています。また、豊臣石垣館の開館や開館時間の延長、万博開催期間中の賓客訪問への対応など運営面での取り組みも評価できる。 一方、入館者数が伸び悩んだ豊臣石垣館については、天守閣からの誘導や認知度の向上などにより一層取り組み、入館者数の増加を図ってほしい。 今後、国際的な観光地として、また市民に親しまれる大阪城として発展していくためには、新たな魅力の創出が必要である。この点、検討中のナイトコンテンツの造成や市民向けイベントの実施、魅力向上事業への投資をより積極的に進めてほしい。